

令和2年6月

# 令和元年度事業報告書

令和元年度に日本戦没者遺骨収集推進協会（以下「本協会」と言う。）が実施した事業の概要は、次のとおりである。

## 1. 戦没者の遺骨収集のために必要な情報の収集

### (1) 国立公文書館等における資料調査

7月、厚生労働省を通じて、今年度計画していた米国海軍設営隊資料館での資料調査は、資金上の問題により今年度一般公開は、できないとの回答を受け、今年度は見送ることとした。

### (2) 戦没者の遺骨収集を実施する地域における現地調査等

戦没者の遺骨収集を実施する地域においては、本邦からの派遣者による現地調査に加え、より実効性を高めるため平成30年度まではマリアナ諸島、ミャンマー、東部ニューギニア、ソロモン諸島（ガダルカナル島）、インド等に現地調査員等を配置していたが、令和元年度は新たにパラオ諸島（ペリリュー島）に調査員を配置した。

### (3) 国内情報等

#### イ フィリピン（電話・メールでの確認情報）

- ① 4月、ドイツ在住のフルソン櫻子氏から祖父の弔いのためフィリピンを訪問した際、ビンタワン地区で掘り起こされた日本兵の遺骨が納められているという Japanese Shrine について情報提供があった。
- ② 4月、星一氏（63歳）から妻（フィリピン国籍・Tumauini 市出身）が日本兵の埋葬情報を知っているので協力したい旨メール連絡があった。
- ③ 5月、岐阜市在住の山下氏（77歳）からのルソン島ラオナにおける遺骨視認情報について、電話にてその後の状況を確認・・・本年6月10日から、妻（フィリピン国籍）が里帰りの予定であり、日本に帰国後本人から連絡をする旨調整があった。
- ④ 5月、三浦友希氏（細部は不明）から、パラワン島に住む友人から日本兵の遺骨の一部らしきものを発見したとの情報提供があった。
- ⑤ 7月、埼玉県在住の村見氏（75歳）から義父の友人（90歳超）が「日本兵が殺害され、井戸に投げ込まれたのを見て、5・6年前に捜索活動を行ったが収容できなかった」との情報提供があった。（村見氏の妻はフィリピン人で、実家はパンパンガ州カンダバー村）

#### ロ 中国（電話・メール）

- ① 10月、中国在住の孟氏から、メールにて写真と動画を添付し、中国

東北部の満州里市博物館の倉庫に日本兵遺骨を保管しているとの情報提供があった。

#### ハ 台湾（メール・面談）

- ① 10月、台湾高雄市在住の舘量子氏からメールにより事前連絡を受け、同氏と協会内で面談し、情報提供を受けた。2・3年前に原発工事現場で大量の遺骨が見つかり、木の下に埋めたという情報であった。

#### 二 インド・ミャンマー関連・インパール作戦（聞き取り調査）

- ① 7月14日～7月15日：生還者である佐藤哲雄氏（99歳）のご自宅を訪問し、聞き取り調査を実施した。（新潟県村上市）・第31師団（烈兵団）高田歩兵58連隊
- ② 8月19日：生還者である高尾市郎氏（98歳）のご自宅を訪問し、聞き取り調査を実施した。（栃木県那須烏山市）・第33師団（弓兵団）宇都宮歩兵214連隊
- ③ 令和2年2月28日：生還者である山本榮策氏（99歳）宅を訪問し、聞き取り調査を実施した。（滋賀県草津市）・陸軍第53師団（安兵団）敦賀歩兵第119連隊

#### ホ 東部ニューギニア関連（聞き取り調査）

- ① 11月27日～11月28日：生還者である中野清香氏（101歳）宅ほか関係ご遺族の居住地を訪問し、聞き取り調査を実施した。（長崎県西彼杵郡長与町・諫早市・長崎市）中野氏：陸軍第18師団（菊兵団）工兵18連隊→独立工兵第37連隊

## 2. 遺骨情報の現地調査事業

### （1）実施報告

この事業は平成28年度までは、未送還遺骨情報収集事業として国が団体（全団体が本協会の社員となった）に直接委託契約をしていたが、平成29年度からは、本協会が現地の遺骨情報も一括して委託され、現地調査事業として実施することとなった。

令和元年度は、マリアナ諸島、ミャンマー、パラオ諸島、旧ソ連（4地域）、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、インド、ミクロネシア連邦、国内種子島（鹿児島県）9地域に153名30派遣を実施した。（事業計画は9地域198名40派遣）なお、ビスマーク・ソロモン現地調査（第3次派遣）は政情不安等のため中止とし、マリアナ（第6次派遣）については予算上の制約により、見送ることとした。また、令和2年2月から3

月に予定していたパラオ（第4次派遣）、マリアナ（第7次派遣）、ビスマーク・ソロモン諸島（第6次派遣）、インドネシアの現地調査4派遣については新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とした。また、厚生労働省主体の調査派遣、旧ソ連（4地域）に同行した。

詳細は別紙1のとおり。

## （2）実施状況

派遣区分	派遣日程	日数	派遣体制
マリアナ諸島現地調査 （第1次派遣）	6月13日 ～ 6月26日	14日間	8名
マリアナ諸島現地調査 （第2次派遣）	7月5日 ～ 7月16日	12日間	5名
マリアナ諸島現地調査 （第3次派遣）	8月20日 ～ 8月31日	12日間	5名
マリアナ諸島現地調査 （第4次派遣）	9月17日 ～ 9月28日	12日間	5名
マリアナ諸島現地調査 （第5次派遣）	10月30日 ～ 11月8日	10日間	5名
ミャンマー現地調査 （第1次派遣）	10月15日 ～ 10月30日	16日間	4名
ミャンマー現地調査 （第2次派遣）	12月2日 ～ 12月15日	14日間	8名
ミャンマー現地調査 （第3次派遣）	1月8日 ～ 1月21日	14日間	3名
パラオ諸島現地調査 （第1次派遣）	5月26日 ～ 6月4日	10日間	12名
パラオ諸島現地調査 （第2次派遣）	7月15日 ～ 7月25日	11日間	9名
パラオ諸島現地調査 （第3次派遣）	9月4日 ～ 9月17日	14日間	12名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査派遣 （イルクーツク州・ブリヤート共和国）	5月26日 ～ 6月9日	15日間	1名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査派遣 （ハバロフスク地方①）	5月28日 ～ 6月9日	13日間	3名

旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査派遣 (ザバイカル地方)	5月28日 ~ 6月9日	13日間	1名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 事前協議・埋葬地調査派遣 (カザフスタン共和国)	6月10日 ~ 6月25日	16日間	1名
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集 埋葬地調査派遣 (ハバロフスク地方②)	6月23日 ~ 7月2日	10日間	1名
東部ニューギニア現地調査 (第1次派遣)	6月1日 ~ 6月14日	14日間	4名
東部ニューギニア現地調査 (第2次派遣)	6月29日 ~ 7月13日	15日間	6名
東部ニューギニア現地調査 (第3次派遣)	8月24日 ~ 9月7日	15日間	5名
東部ニューギニア現地調査 (第4次派遣)	8月24日 ~ 8月31日	8日間	3名
東部ニューギニア現地調査 (第5次派遣)	11月9日 ~ 11月22日	14日間	6名
東部ニューギニア現地調査 (第6次派遣)	12月7日 ~ 12月20日	14日間	5名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第1次派遣)	5月18日 ~ 6月2日	16日間	6名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第2次派遣)	7月20日 ~ 8月3日	15日間	9名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第4次派遣)	9月21日 ~ 10月5日	15日間	4名
ビスマーク・ソロモン諸島 現地調査 (第5次派遣)	10月22日 ~ 11月1日	11日間	5名
インド現地調査 (第1次派遣)	9月8日 ~ 9月22日	15日間	7名
インド現地調査 (第2次派遣)	11月10日 ~ 11月24日	15日間	5名
ミクロネシア連邦ウルシー環礁 現地調査	1月21日 ~ 1月29日	9日間	4名
種子島喜志鹿崎沖に沈む旧日本軍機周辺の 遺骨調査 (事前調査)	6月25日 ~ 6月28日	4日間	1名
9地域 30派遣			153名

### 3. 戦没者の遺骨の収容や本邦への帰還事業

#### (1) 実施報告

令和元年度は戦没者の遺骨収集を実施した結果、総計 330 柱を本邦へ送還した。硫黄島、マリアナ諸島、旧ソ連、パラオ諸島、ビスマーク・ソロモン諸島、東部ニューギニアの 8 地域に 252 名 29 派遣を実施した。(事業計画は 14 地域 321 名 40 派遣)

なお、令和 2 年 2 月から 3 月にかけて派遣予定であった東部ニューギニア、ミャンマー、インド、ビスマーク・ソロモン諸島(第 2 次)、インドネシアについては厚生労働省より令和 2 年度に延期し、遺骨収集事業の新たな方針の下で実施することとなった。

詳細は別紙 2 のとおり。

#### (2) 実施状況

派遣区分	派遣日程	日数	派遣体制	発見柱数
				送還柱数
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 1 回収集)	7 月 23 日 ～ 8 月 7 日	16 日間	29 名	3 柱
				0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 2 回収集)	9 月 24 日 ～ 10 月 8 日	15 日間	31 名	4 柱
				0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 3 回収集)	11 月 26 日 ～ 12 月 11 日	16 日間	33 名	0 柱
				0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 4 回収集)	1 月 29 日 ～ 2 月 14 日	17 日間	32 名	4 柱
				11 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 1 回掘削立会)	6 月 2 日 ～ 6 月 17 日	16 日間	4 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 2 回掘削立会)	6 月 16 日 ～ 7 月 2 日	17 日間	4 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 3 回掘削立会)	7 月 1 日 ～ 7 月 16 日	16 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 4 回掘削立会)	7 月 15 日 ～ 7 月 29 日	15 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 5 回掘削立会)	7 月 28 日 ～ 8 月 5 日	9 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 6 回掘削立会)	8 月 4 日 ～ 8 月 19 日	16 日間	3 名	0 柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第 7 回掘削立会)	8 月 18 日 ～ 9 月 2 日	16 日間	3 名	0 柱

硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第8回掘削立会)	9月1日 ~ 9月17日	17日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第9回掘削立会)	9月16日 ~ 9月30日	15日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第10回掘削立会)	9月29日 ~ 10月7日	9日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第11回掘削立会)	10月6日 ~ 10月25日	20日間	4名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第12回掘削立会)	10月24日 ~ 11月5日	13日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第13回掘削立会)	11月4日 ~ 11月19日	16日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第14回掘削立会)	11月18日 ~ 12月3日	16日間	3名	0柱
硫黄島戦没者遺骨収集派遣 (第15回掘削立会)	12月2日 ~ 12月17日	16日間	3名	0柱
マリアナ諸島戦没者遺骨収集 (応急派遣)	5月13日 ~ 5月24日	12日間	8名	0柱
				236柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (ハバロフスク地方：第1次)	7月22日 ~ 8月7日	17日間	11名	11柱
				11柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (イルクーツク州・ザバイカル地 方)	7月22日 ~ 8月7日	17日間	4名	8柱
				8柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (ハバロフスク地方：第2次)	8月19日 ~ 9月4日	17日間	16名	34柱
				34柱
旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣 (カザフスタン共和国)	8月19日 ~ 9月4日	17日間	7名	8柱
				8柱
樺太・占守島戦没者遺骨収集派遣	11月5日 ~ 11月14日	10日間	4名	0柱
				7柱
マリアナ諸島戦没者遺骨収集派遣	11月11日 ~ 11月22日	12日間	7名	2柱
				5柱
パラオ諸島戦没者遺骨収集派遣	11月30日 ~ 12月13日	14日間	8名	8柱
				5柱
ビスマーク・ソロモン諸島 戦没者遺骨収集派遣 (第1次)	11月30日 ~ 12月13日	14日間	12名	4柱
				5柱

東部ニューギニア戦没者遺骨 受領派遣	2月17日 ～ 2月21日	5日間	2名	0柱
				0柱
8地域29派遣			252名	86柱
				330柱

※東部ニューギニア戦没者遺骨受領派遣は、柱数を判断していないため、9個体を検体として送還した。

#### 4. 法人及び事務局の運営

##### (1) 実施報告

##### 【理事会・社員総会】

##### (第14回臨時理事会)

令和元年5月16日、本協会4階にて理事11名及び監事1名が出席して開催した。

第1号議案「遺骨情報調査及び遺骨収集の今後の展望（令和2年度予算への要望を含む）」、第2号議案「コンプライアンス委員会の設置」について審議した。

##### (第15回定時理事会)

6月6日、本協会4階にて理事12名及び監事2名が出席して開催した。

第1号議案「平成30年度事業報告書（案）」、第2号議案「平成30年度収支決算書（案）」、その他、社員総会への付議事項（案）について審議した。

##### (第6回定時社員総会)

6月27日、本協会4階にて13社員団体が出席して開催した。

第1号議案「平成30年度事業報告書（案）」、第2号議案「平成30年度収支決算書（案）及び監査報告」、第3号議案「定款の一部改正（案）」について審議した。

##### (第16回臨時理事会)

令和元年11月26日、本協会4階にて理事11名及び監事2名が出席して開催した。

第1号議案「本年度前半の事業報告」として、3部長がそれぞれの担当部分を報告した後、第2号議案「コンプライアンス委員会報告」及び第3号議案「今後の協会活動改善案」について専務理事が説明したところ、理事より「改善案よりも協会の運営体制に問題がある。」として、協会職員がその旨を説明しているという文書を開示。審議が中断し、議長の尾辻会長が「このままでは審議に

差しさわりがあるため、今回の理事会はここまでとし、全職員個々に聞き取りを行ったうえで改めて開催する。」と宣言され、第4号議案以下は次回持ち越しとなった。

#### (第17回臨時理事会)

令和2年2月27日、本協会4階にて理事12名及び監事2名が出席して開催した。

開会に先立ち、会長から職員との面談結果について、「職員がいくつも現場を抱えて忙しく、色々と悩みがあるようだ。」と報告がなされた後、審議に入った。第1号議案「文書取扱規程改正案」から第7号議案「職員給与規程改正案まで、すべて規則、規程の改正案について審議した

#### (第18回定時理事会)

3月26日、本協会4階にて理事12名及び監事2名が出席して開催した。

第1号議案「令和2年度事業計画書(案)」、第2号議案「令和2年度収支予算書(案)」について審議したほか、事務所移転計画等を報告した。

#### 【コンプライアンス委員会】

コンプライアンス委員会(座長・住田陸快本協会理事他委員5名)の第1回会合が5月22日、第2回が6月12日、第3回が7月4日、第4回が11月19日いずれも本協会4階で開催され、コンプライアンス委員会運用規程に基づき協議が行われた。

#### 【令和2年度予算要求に向けた要望事項】

5月17日、各社員団体から提出された令和2年度予算要求に向けた要望事項を事務局がとりまとめ、予算に対する要望と予算以外の要望として2案を作成し、各社員団体及び会長及び副会長に諮り、5月31日、厚生労働省へと提出した。

#### 【指定法人指導監査】

7月11日、12日、本協会4階にて、戦没者の遺骨収集の推進に関する法律(平成28年法律第12号)第13条第1項の規定に基づき、本協会の戦没者遺骨収集事業の業務若しくは財産の状況等について監査が実施された。

平成29年度分の運営監査の際に指摘された事項の改善状況の説明を踏まえ、平成30年度分は細微な指摘は多数あるものの文書にて1件について改善が指摘された。

### 【戦没者遺骨帰還に関する特命委員会】

8月5日、自由民主党本部7階702号室で戦没者の遺骨帰還に関する特命委員会が開催された。

### 【戦没者の遺骨収集の推進に関する検討会議】

5月23日、第1回検討会議がTKP虎ノ門駅前カンファレンスセンター ホール2Aで、第2回が7月2日に厚生労働省共用第8会議室（11階）で、第3回が7月18日に厚生労働省共用第6会議室（3階）で、第4回が7月25日に厚生労働省共用第8会議室（11階）で開催された。

### 【戦没者遺骨収集推進法に基づく指定法人への指導監督等に関する有識者会議】

10月7日、第3回戦没者遺骨収集推進法に基づく指定法人への指導監督等に関する有識者会議が厚生労働省専用第21会議室（17階）で、第4回が10月24日にTKP新橋カンファレンスセンター ホール14Cで、第5回は持ち回りで開催とされた。

第6回は12月18日、第7回は12月23日、第8回は3月25日にいずれもTKP新橋カンファレンスセンター ホール15Cで開催された。

※令和2年4月より「戦没者の遺骨収集に関する有識者会議」に名称変更

### 【業者選定】

本協会ホームページで公募による令和元年度事業にかかる旅行業者の入札結果は次のとおり。

(現地調査)

上半期

パラオ第1次	アイザヤジャパン
マリアナ諸島第1～7次	名鉄観光
東部ニューギニア第1～6次	名鉄観光
ビスマーク・ソロモン諸島第1～6次	名鉄観光
パラオ第2次	アイザヤジャパン
種子島喜志鹿崎沖	藤田建設興業
パラオ第3次	東武トップツアーズ東京法人東事業部
インド第1～2次	小田急トラベル
ミャンマー第1～3次	東武トップツアーズ東京法人東事業部

下半期

ビスマーク・ソロモン諸島第5次	名鉄観光
パラオ第4次	東武トップツアーズ東京法人東事業部
ミクロネシア連邦ウルシー環礁	名鉄観光

(遺骨収集)

上半期

マリアナ諸島 (応急)	名鉄観光
旧ソ連 (ハバロフスク第1次)	エムオーツーリスト
旧ソ連 (ハバロフスク第2次)	小田急トラベル
旧ソ連 (イルクーツク州・ザバイカル地方)	エムオーツーリスト
旧ソ連 (カザフスタン共和国)	東武トップツアーズ東京法人東事業部
樺太・占守島	東武トップツアーズ東京法人東事業部
マリアナ諸島	名鉄観光
ビスマーク・ソロモン諸島第1次	名鉄観光
インドネシア第1～2次	名鉄観光
マーシャル諸島	東武トップツアーズ東京法人東事業部
パラオ諸島	東武トップツアーズ東京法人東事業部

下半期

東部ニューギニア	名鉄観光
ミャンマー	東武トップツアーズ東京法人東事業部
インド	東武トップツアーズ東京法人東事業部
ビスマーク・ソロモン諸島第2次	名鉄観光

【尾辻会長との職員面談】

ハロー貸会議室虎ノ門7階のRoom2で面談を開催し、12月18日、6名、12

月 24 日、8 名、1 月 28 日、5 名の職員が参加した。

**【職員等の採用・退職等】**

本協会ホームページで職員等の採用を行ったところ、次のとおり職員を採用した。

日付	採用	退職
平成 31 年 4 月 1 日付	職員 2 名 事業単位派遣員 1 名	
令和元年 6 月 30 日付		職員 1 名
令和元年 7 月 31 日付		職員 1 名
令和元年 9 月 1 日付	職員 2 名	
令和元年 9 月 10 日付	事業単位派遣員 3 名	
令和元年 10 月 1 日付	職員 2 名	
令和元年 10 月 31 日付		職員 1 名
令和元年 11 月 1 日付	職員 1 名	
令和元年 12 月 31 日付		職員 1 名
令和 2 年 2 月 15 日付		職員 1 名
令和 2 年 2 月 29 日付		職員 1 名
令和 2 年 3 月 9 日付		職員 1 名
令和 2 年 3 月 26 日付		臨時職員 1 名

- ・平成 31 年 4 月 1 日現在、職員 19 名、事業単位派遣員及び臨時職員 11 名
- ・令和 2 年 3 月 31 日現在、職員 17 名、事業単位派遣員 14 名。